

# お薬のしおり

## めまいとくすり No.102 (H22.6)

東京医科大学病院 薬学部

「めまい」を経験したことのある人は多いのではないのでしょうか？目の前がグルグル回ったり、フラフラと倒れそうになったり、とてもつらい症状ですね。ひとくちに「めまい」と言ってもその症状や原因はさまざまです。ここでは、代表的な「めまい」の種類とその原因について紹介します。

### ◆末梢性の「めまい」

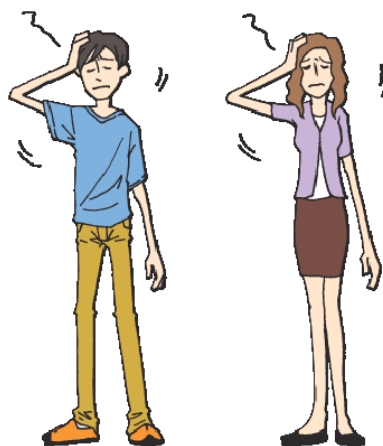
耳の中の内耳ないじと呼ばれる部分や前庭神経ぜんていしんけいの異常によって生じます。急に自分自身や周囲がグルグル回っているように感じる事が多いです。耳が聞こえにくくなったり、耳鳴りみみながしたりといった症状を伴うこともあります。

このタイプの「めまい」を引き起こす原因として、内耳を満たすリンパ液が増えすぎたり、耳の中にあって、バランスを保つはたらきをする三半規管さんはんきかんに耳石じせきが入り込んだり、体のバランスを保つための情報が脳へうまく伝わらなくなったりすることなどが考えられます。

### ◆中枢性の「めまい」

脳の病気によって生じる「めまい」です。フワフワ揺れているように感じる「めまい」が多いです。まっすぐ歩けなかったり、姿勢を保てなかったりします。頭痛まひやしびれ、麻痺などを伴うことがあります。また、ダラダラと長く続く「めまい」が多いのも特徴です。原因としては脳に血液が運ばれなくなる脳梗塞のうこうそくや脳出血のうしゅっけつ、脳腫瘍のうしゅようなどということもありますので注意が必要です。

この他、立ち上がるとクラッとしたり、目の前が暗くなったりする「立ちくらみ」があります。これは、血圧の急激な変化によって起こります。また、「めまい」はスト



レスや不安によっても引き起こされることがあります。

このように原因不明の「めまい」も多いので簡単には治らない場合もありますが、薬を飲むことによって症状がやわらぐことがあります。「めまい」に使われる薬には次のようなものがあります。

\*ベタヒスチン（製品名:メリスロン）

脳や内耳の血液や内リンパの流れを良くします。

\*ジフェニドール（製品名:セファドール）

へいこうかんかく  
平衡感覚に関わる神経の働きを調整したり首から脳への血流量を増やしたりします。

\*ATP（製品名:アデホス）

脳や内耳の血流量を増やしてエネルギー代謝を活発にします。

\*イソソルビド（製品名:イソバイド、メニレット）

内耳を満たすリンパ液を排出させて内耳のむくみを取ります。

\*ジフェンヒドラミン・ジプロフィリン（製品名:トラベルミン）

「めまい」や嘔吐に関わる神経の働きを抑えます。

\*カリジノゲナーゼ（製品名:カリクレイン、カルナクリン）

内耳の血管を広げて血流を良くします。

メトクロプラミド（製品名:プリンペラン）やドンパリドン（製品名:ナウゼリン）、ペルフェナジン（製品名:ピーゼットシー）などの吐き気止めやジアゼパム（製品名:ホリゾン）やエチゾラム（製品名:デパス）などの不安を取り除く薬、ビタミン剤、ステロイドも使われます。注射薬では炭酸水素ナトリウム（製品名:メイロン）がよく使われます。

「めまい」は生活習慣を見直すだけで改善されることがあります。重い荷物を運んだり、長時間同じ姿勢を保ったりすると首や背筋に負担がかかりよくありません。また、ヘッドホンで大きな音を聴き続けることも耳に負担をかけます。不規則な生活を見直したり、ストレスをうまく発散したりすることでも、症状が軽くなります。それでも症状が改善されない場合は、重大な病気が潜ひそんでいる可能性もありますので、かかりつけ医に相談して下さい。

